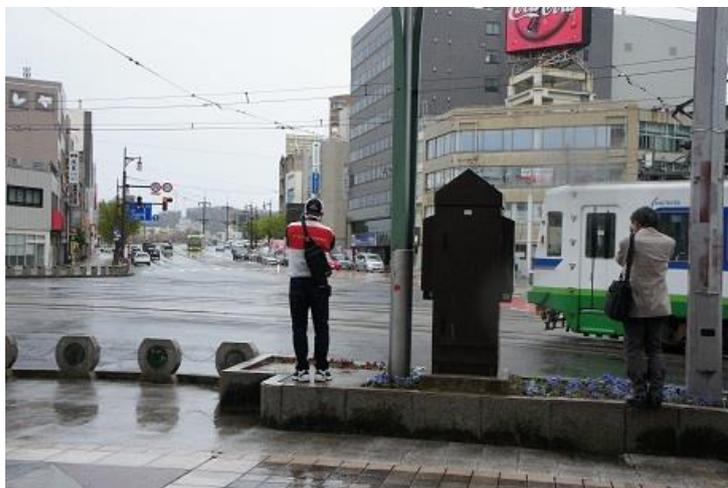


第1回福井ふるさと百景調査隊 出動！ 20210404



●関連記事 4ページ

*ビューポイントからシャッターチャンスを狙って！ 撮影：林博

4月6日「えち鉄」勝山永平寺線 全区間開通（1か月前、小舟渡駅周辺土砂崩れ）

☆☆活動報告☆☆

3月 9日 3月例会・理事会
15日 羽水高校課題設定発表会
4月 4日 第1回ふるさと百景調査隊
13日 4月例会・理事会

☆☆今後の予定☆☆

5月11日（火） 5月例会・理事会
23日（日） 10時～12時 定例総会
13時～17時 第2回ふるさと百景調査隊
6月 8日（火） 6月例会・理事会
第1回カーフリーデーふくい実行委員会
6月13日（日）
第19回中部地区路面電車サミット豊橋大会

Wacky's ー押しCD その36

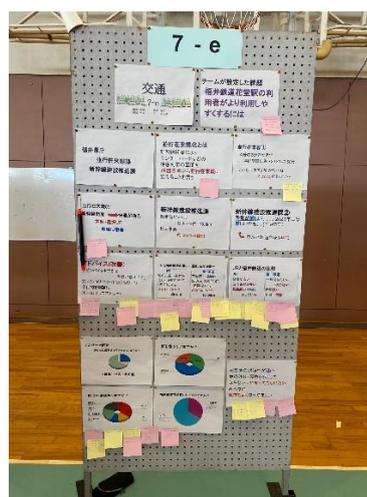
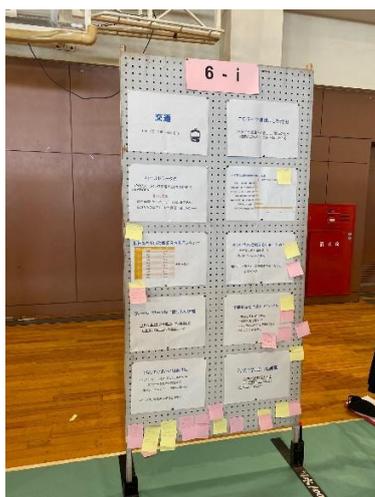
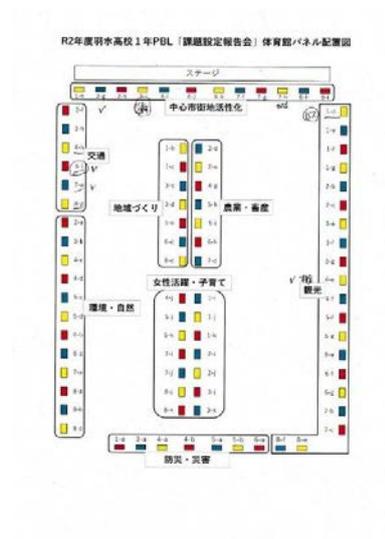
ジャパン「Ao Vivo (ライブ)」

これまで、ブラジルのアーティストとして、ボサノバの創始者のアントニオ・カルロス・ジョビンから次世代（MPB）大物のミルトン・ナシメントまで紹介してきましたが、今回は、さらにMPBの後継者、ジャパンを取り上げます。ジャパンもナシメントと同じく、貧しい環境で育った黒人ですが、その卓越した作曲力と黒人独特の濡れた美声の持ち主で、まさしくナシメントの後継者といえます。彼の紡ぎだす哀しくも美しいメロディーは、大変覚えやすく、彼のファンはコンサートで一緒に歌います。これは、USAのスーパースター、スティビー・ワンダーにも通じる魅力です。

今回ご紹介するアルバムは、そのことも考慮し、ライブ盤としました。お薦めの曲は、彼を有名にした大ヒット曲、「ユリの花」です。この曲で、聴衆が1コーラスを丸々歌う、まさに、ファンと一体になった、素晴らしいパフォーマンスが堪能できます。しかし、実際、歌ってみると、すごく難しい曲で、こんな難しい曲と一緒に歌えるファンの歌唱力に感心します。皆さんもぜひチャレンジしてみてください。

羽水高校「プロジェクト型学習」課題設定報告会に参加してきました 林 博

羽水高校 1 年生 PBL の 11 月の ROBA ヒアリング、12 月の中間報告会に引き続き、3 月 15 日に課題設定報告会が開かれましたので、アドバイザーとして参加してきました。



体育館でのポスターセッションで、赤青黄ごとに 10 分×2 回ずつ発表を行い、アドバイザーや発表しない生徒がそれを聞いて、質疑の後に黄色【感想】・ピンク【アドバイス】のカードを張って、2 回目には別のセッションに移動して、計 6 回行う方式をとった。効率の良い方法だった。

8 つのテーマ領域 85 チームのうち「交通」のテーマ領域は 6 チームあり、そのテーマは②福井県の交通事故の現状と課題、③貨客混載を福井に広めるために何をすべきか、④車社会の福井において交通手段を増やすにはどうしたらいいか、⑥公共交通機関と車をうまく使い分けるには、⑦福井鉄道花堂駅の利用客がより利用しやすくするには、⑧公共交通機関に魅力があるのになぜその魅力に気が付かないのか、など ROBA にも関心のあるテーマだった。ROBA にヒアリングしたチームは⑥の 3 人だった。

新年度はその課題を進めるといことなので、「9 月のカーフリーデーには、可能であれば共同で取り組みたい」という要望もアンケートに記載しておいた。うまく話が進むといいですね。

ふくい景観まちづくりフォーラムに参加してきました 林 博

3月18日に「ふくい景観まちづくりフォーラム」が県立博物館で開催されました。フォーラム、活動発表と同時に、新年度の「ふくいふるさと百景活動4団体」の認定式が開催され、認定書とパネルが手渡されました。なお、ROBAは昨年認定され、宅急便で書類一式を受け取っています。

基調講演「いい風景のつくり方ー福井県の観光・景観まちづくりー」は、ふるさと福井景観づくり懇談会座長で福井県立大学学長の進士五十八氏でした。

講演は、先人たちや建築家、デザイナーが残してくれた綺麗な景観や美しい景観をうまく使って、いい風景を作っていくという内容でした。ピンポイントの美しい景観に対して、いい風景とは全体を見て感じるもので、日常の中にある人の営みを伴う生活風景づくりには100年、それが地域の風土となるには1000年を要し、長い取り組みが必要だといっていると私は思った。

また、景観まちづくり活動発表は、3団体からあって、

・「越前海岸の水仙畑の文化的景観の価値とその情報発信」福井市文化財保護課 藤川明宏氏

生産者だけでなく、利用者も参加した水仙の里づくりを継続的に行っている。

・「熊川宿の文化資源を活かしたまちづくり」株式会社デキタ 時岡壮太氏

Jターンの民間企業として、初年度はシェアオフィスづくり、次年度はホテルやカフェ、3年度には物販店・マルシェ・トレイル、行政グランデザインづくりというように順次展開してきて、地域の人や行政と一緒に取り組みは始めている

・「福井ふるさと百景ビューポイントと三床山を拠点とした地域活性化」三床山を愛する会 舘庄司氏
登山道の整備やビューポイントの整備だけでなく、歴史を掘り起こして、山頂に祠も立てて、かつくろげる空間づくりをしている

このフォーラムを聞いて感じたのは、それぞれの地域ですでに備わっている「単なる美しい景観」を保全するだけでなく、それを文化資源として再評価し、さらには活かして・育てて、景観まちづくりをすすめていることである。それによって人々の生活の営みの見える「いい風景」をつくっている、つくろうとしていることであり、それが地域の活性化につながっているようです。

これらを参考にROBAのふるさと百景調査隊の使命を考えると、「路面電車の見えるビューポイント」（美しい景観）さがしの調査だけにとどまらず、クルマに頼らず自由に移動できることを支援するというこれまでのROBAの活動の延長の上にある、路面電車の利用者が安心して、利用しやすくなるような環境をつくるための工夫を見つけ出すための調査も必要だと感じた。

その結果、路面電車をホジロバで楽しく使っている「いい風景」をながめることができるようになる、それが「路面電車のあるいい風景」という、ふるさと百景となることなのではないでしょうか。

ふくい景観まちづくりフォーラム

<開催趣旨>
北陸新幹線などの高速交通体系の整備、SNSや高速通信網の発達により、国内外との大交流時代がすぐそこに来ています。ふくいの豊かな景観資源を保全・活用し、未来へ継承するために、県民や行政がすべきこと・できることを共に考えましょう。

基調講演
「いい風景のつくり方ー福井県の観光・景観まちづくりー」
進士 五十八 氏
ふるさと福井景観づくり懇談会座長／福井県立大学学長
経歴 1999年 東京農業大学 学長
2013年 福井県里山海湖研究所 所長
2016年 福井県立大学 学長
日本造園学会会長、日本都市計画学会会長や審議会会長など多数歴任
紫綬褒章、第9回みどりの学術賞など多数受賞
著書 『日本の庭園』(中公新書)、
『風景デザイン』、『アメニティ・デザイン』(学芸出版社)など多数



内容
1 令和2年度 百景活動団体・伝民推進地区への指定書等交付式
2 基調講演 講師 ふるさと福井景観づくり懇談会座長／福井県立大学学長 進士 五十八 氏
3 景観まちづくり活動発表
・「越前海岸の水仙畑の文化的景観」の価値とその情報発信 福井市文化財保護課 副主幹 藤川 明宏 氏
・熊川宿の文化資源を活かしたまちづくり 株式会社 デキタ 代表取締役 時岡 壮太 氏
・福井ふるさと百景ビューポイントと三床山を拠点とした地域活性化
三床山を愛する会 事務局長 舘 庄司 氏(県文化課との共同発表)

報告者：内田佳次

第1回ふるさと百景調査隊 実施報告

令和3年4月4日第1回ふるさと百景調査隊を実施いたしました。ROBAの令和3年度、4年度を通しての新規事業です。百景のなかでも「路面電車が走る福井の街角」がテーマです。これから2年間、路面電車を通して見える魅力ある福井の景観を発信できたらと考えています。

今回の参加者は6名（林博隊長、清水、松原、門、山岸、内田）福井駅前集合し調査をスタートいたしました。初めに新幹線開業時に路面電車とのアクセス性をみんなで議論。福井駅に降り立って福井鉄道まではちょっとした距離があります。動線やサインの設置にひと工夫必要かと感じました。

百景の調査ポイントとしては、福井駅、田原町駅、鷲塚針原駅、大名町交差点、さくら通り、福井城址、幸橋南詰、足羽川堤防、木田四ツ辻、日赤などで行いました。

あいにく朝から雨模様でしたが初回調査ということで時間も忘れ10時から16時30分までシャッターを押していました。

次回は5月23日総会終了後13時～17時を予定しています。



エリザベス・コットン Freight Train



●1979年製 マーチン D-28
 *1980年、所有していたエレク
 トーンを下取りにだして、19万円で購入。
 その頃は1ドル360円で定価36万
 でした。

エリザベス・コットン (1895~1987) は左利きの女性シンガーソングライター。通常、右利きのギターの弦を張り替えて使用するのですが、コットンは張り替えせずに逆さまにギターを持って演奏している。(YouTubeで動画が見られます。親指でメロディー、他の指でベースラインを弾く独特のスタイル。60を過ぎてから本格的な演奏活動を始めており、動画のコットンも声も枯れて味があり、私もこうなりたいと思います)

スリーフィンガー (ギター奏法のひとつ) を上達するための必須曲「Freight Train」はエリザベス・コットンが10代前半に作曲。私もこの曲を一生懸命練習してスリーフィンガーをマスターしましたが、練習をさぼるとすぐ弾けなくなります。

最近、ギターの練習はさぼり気味ですが、「六角精児の飲み鉄本線・日本旅」で歌われていた「ディーゼル」が練習曲にちょうどいいので、時々歌いながらリハビリに励んでいる。

ちなみに、内田会長と作った名曲 (迷曲?) 「ふるさと電車に乗って」は、「Freight Train」のコード進行を参考にした。

怪速! by.うろし哲
 路面ライター



作/漆崎 耕次

編集後記・・・編集委員より一言

内田 (発行責任者)

「ふるさと百景調査隊実行しましたが、あいにくの雨! 雨男健在です。でも久し振りの交通調査でした。」

林 (変集長)

「昔話法廷 (Eテレ) 最終章」は豪華俳優陣でおもしろかった。」

事務局 特定非営利活動法人

ふくい路面電車とまちづくりの会 (ROBA)

910-8031

福井市種池1丁目1905-3

TEL: 0776-25-7968

e-mail: roba@mbh.nifty.com

URL: <http://roba.cocolog-nifty.com/roba/home/>